

医 事 課

1. 医療従事者数

職 種	従事者数	備 考 (資料等)
	人	
医 師	262,687	平成14年末届出者数
歯 科 医 師	92,874	「平成14年医師・歯科医師・薬剤師調査」
保 健 師	45,976	平成15年末従事者数
助 産 師	25,724	「医療施設（動態・静態）調査・病院報告」及び
看 護 師	772,407	「衛生行政報告例」による推計
准 看 護 師	424,343	
診療放射線技師	56,156	
理学療法士	37,068	
作業療法士	22,757	
臨床検査技師	150,613	
衛生検査技師	133,019	平成15年末免許取得者数
視能訓練士	5,353	
臨床工学技士	17,473	
義肢装具士	2,869	
救急救命士	25,125	
言語聴覚士	7,750	
歯科衛生士	73,297	
歯科技工士	36,765	
あん摩マッサージ指圧師	97,313	平成14年末従事者数
はり師	73,967	「衛生行政報告例」
きゅう師	72,307	
柔道整復師	32,483	

2. 養成施設等の現状

(平成16年4月1日現在)

養成種別	厚生労働大臣指定		文部科学大臣指定等		計	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
	か所	人	か所	人	か所	人
医師	—	—	80	7,695	80	7,695
歯科医師	—	—	29	2,682	29	2,682
保健師	30	1,020	138	9,434	168	10,454
助産師	33	745	111	6,769	144	7,514
看護師	764	34,095	329	19,369	1093	53,464
准看護師	*287	13,505	25	1,105	312	14,610
歯科衛生士	118	6,340	24	1,375	142	7,715
歯科技工士	55	2,206	14	525	69	2,731
診療放射線技師	17	1,162	24	1,170	41	2,332
理学療法士	135	6,605	47	1,361	182	7,966
作業療法士	120	5,105	38	1,118	158	6,223
臨床検査技師	29	1,574	9	530	38	2,104
視能訓練士	16	682	6	270	22	952
臨床工学技士	30	1,677	5	190	35	1,867
義肢装具士	5	120	—	—	5	120
救急救命士	30	2,010	5	325	35	2,335
言語聴覚士	39	1,555	11	440	50	1,995
あん摩マッサージ指圧師	7	323	86	802	93	1,125
はり師・きゅう師	64	4,444	5	369	69	4,813
あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師	26	1,233	58	578	84	1,811
柔道整復師	66	5,860	3	209	69	6,069

- ※注1. 医師の文部科学大臣指定等には、防衛医科大学校を含む。
 2. 医師、歯科医師は募集人員であり、その他は1学年定員である。
 3. 准看護師の※印は都道府県知事指定である。

3. 医師臨床研修関係経費

臨床研修費補助金の概要（平成17年度）

新制度施行2年目にあたる平成17年度においては、2学年全ての研修医が新制度の対象になることから、全ての研修医が適切な指導体制の下で研修を実施するための経費として、182億円（対前年度11億円増）の予算を確保

(1) 平成17年度予算案 182億円
（公私立の臨床研修病院、大学病院を対象）

(2) 内 容

① 教育指導経費 135億円

- ・ 指導医の確保
- ・ プログラム責任者の配置
- ・ 研修管理委員会の設置 等

② 導入円滑化特別加算 47億円

- ・ 宿日直研修事業費

※ 重点的に補助するための見直しにより13億円減額

(参考)

平成16年度予算額	171億円		平成17年度予定額	182億円
◎ 教育指導経費	111億円		◎ 教育指導経費	135億円
【新制度】			【新制度】	
学年共通経費	} 90億円	→ +45億円	学年共通経費	} 135億円
1年次生			1・2年次生	
【旧制度】			【旧制度】	
2年次生	21億円	→ Δ21億円	廃止	
◎ 導入円滑化特別加算	60億円		◎ 導入円滑化特別加算	47億円
1・2年次生	60億円	→ Δ13億円	1・2年次生	47億円

(3) 実施要綱・交付要綱等の改正内容（案）

- ① 旧制度の実施要綱を廃止、交付要綱の関連部分を削除
- ② 初度設備経費は新規指定病院のみ適用するなど所要の変更
- ③ 宿日直研修事業における処遇改善の比較対象は15年度と17年度
- ④ 処遇の最低基準を順次引き上げることとし、17年度については140万円から180万円に引き上げ

4. 地域保健・医療研修

・臨床研修の到達目標（抜粋）

I 行動目標：医療人として必要な基本姿勢・態度

(1) 患者－医師関係

患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立するために、

- 1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。

(6) 医療の社会性

医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献するために、

- 1) 保健医療法規・制度を理解し、適切に行動できる。
- 2) 医療保険、公費負担医療を理解し、適切に診療できる。
- 3) 医の倫理、生命倫理について理解し、適切に行動できる。
- 4) 医薬品や医療用具による健康被害の発生防止について理解し、適切に行動できる。

II 経験目標

A 経験すべき診察法・検査・手技

(7) 診療計画

保健・医療・福祉の各側面に配慮しつつ、診療計画を作成し、評価するために、

- 1) 診療計画(診断、治療、患者・家族への説明を含む。)を作成できる。
- 4) QOL(Quality of Life)を考慮にいれた総合的な管理計画(リハビリテーション、社会復帰、在宅医療、介護を含む。)へ参画する。

C 特定の医療現場の経験

(2) 予防医療

予防医療の理念を理解し、地域や臨床の場での実践に参画するために、

- 1) 食事・運動・休養・飲酒・禁煙指導とストレスマネジメントができる。
- 2) 性感染症予防、家族計画を指導できる。
- 3) 地域・産業・学校保健事業に参画できる。
- 4) 予防接種を実施できる。

必修項目 予防医療の現場を経験すること

(3) 地域保健・医療

地域保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

- 1) 保健所の役割(地域保健・健康増進への理解を含む。)について理解し、実践する。
- 2) 社会福祉施設等の役割について理解し、実践する。
- 3) 診療所の役割(病診連携への理解を含む。)について理解し、実践する。
- 4) へき地・離島医療について理解し、実践する。

必修項目

へき地・離島診療所、中小病院・診療所、保健所、介護老人保健施設、社会福祉施設、赤十字社血液センター、各種検診・健診の実施施設等の地域保健・医療の現場を経験すること

(4) 周産・小児・成育医療

周産・小児・成育医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

- 2) 周産期や小児の各発達段階に応じて心理社会的側面への配慮ができる。
- 3) 虐待について説明できる。
- 4) 学校、家庭、職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる。
- 5) 母子健康手帳を理解し活用できる。

必修項目 周産・小児・成育医療の現場を経験すること

(5) 精神保健・医療

精神保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

- 3) デイケアなどの社会復帰や地域支援体制を理解する。

必修項目 精神保健福祉センター、精神病院等の精神保健・医療の現場を経験すること

・地域保健・医療研修について

(1) 全人的医療

- ①「健康とは、肉体的、精神的および社会的に完全によい状態にあるということであり、単に疾病または虚弱ではないということではない。」(WHO憲章)
- ② 人 = 肉体 + 精神 + 社会(家庭、地域、職場等)
- ③ 病院や診療所で目の前にいる患者の全身を見れば、それだけで全人的医療か？

(2) 地域保健・医療(特に保健所研修)の意義

- ① 家庭訪問、往診、地域活動等を通じた、患者の社会的側面の学習
- ② 臨床医の届け出事項の意義、活用の学習(食中毒、感染症、各種統計等)
- ③ 医療監視の立ち会いによる医療安全の趣旨、事例の学習
- ④ 各種保健医療制度(保険、公費負担、福祉等)の学習
- ⑤ その他

(3) 基本理念実現のために効果的な地域保健・医療研修を！

5. 研修医マッチングの結果について (平成16年10月28日)

(1) 研修医マッチングの結果の概要

- 参加者のうち希望順位を登録した参加者8,394名のうち、8,000名について組み合わせが決まった。(マッチ率:95.3%)
- 組み合わせの決まらなかった参加者(アンマッチ者)394名については、臨床研修プログラム検索サイト(URL:http://www.reisjp.org)の空席情報等を利用して個別に研修先と交渉。

(2) 大学病院と臨床研修病院

- 大学病院と、臨床研修病院のマッチ者の比率は、52.7%対47.3%となり、前回のマッチングに引き続き、大学病院から地域の臨床研修病院に研修医が流れる結果となった。

(3) 都道府県別マッチ者数

- 前回のマッチング結果に比べ、東京都、京都府、福岡県で研修医の増加が見られたが、平成15年度の採用実績と比較すると依然として減少している。逆に、北海道、沖縄では2年連続で研修医が増加するなど大都市圏から、地方に研修医が流れている傾向にある。

表1 研修医マッチングの結果の概要

	平成16年度					平成15年度				
	臨床研修病院 注1)		大学病院 注2)		合計	臨床研修病院 注1)		大学病院 注2)		合計
参加病院数	852	89.1%	104	10.9%	956	754	88.6%	97	11.4%	851
参加プログラム数	943	81.4%	215	18.6%	1,158	856	79.6%	220	20.4%	1,076
参加者数	—	—	—	—	8,566	—	—	—	—	8,283
募集定員 ①	5,058	45.5%	6,064	54.5%	11,122	4,638	42.7%	6,232	57.3%	10,870
マッチ者数②	3,784	47.3%	4,216	52.7%	8,000	3,193	41.2%	4,563	58.8%	7,756
空席数 ①-②	1,274	40.8%	1,848	59.2%	3,122	1,445	46.4%	1,669	53.6%	3,114
1位希望者数	5,084	60.6%	3,310	39.4%	8,394	4,131	50.9%	3,978	49.1%	8,109

注1) 単独型又は管理型臨床研修病院が管理している研修プログラムについて集計したもの。
協力型臨床研修病院、協力型相当大学病院と病院群を構成している場合もある。

注2) 単独型又は管理型相当大学病院が管理している研修プログラムについて集計したもの。
協力型臨床研修病院、協力型相当大学病院と病院群を構成している場合もある。

研修医マッチングの結果
(参加病院の所在地による全国分布)

都道府県	平成15年度 採用実績①	平成15年度 マッチ者数②	増減 ②-①	平成16年度 マッチ者数③	増減 ③-②	増減 ③-①
北海道	288	315	27	333	18	45
青森県	56	60	4	49	△11	△7
岩手県	38	72	34	70	△2	32
宮城県	88	108	20	106	△2	18
秋田県	61	68	7	62	△6	1
山形県	56	43	△13	59	16	3
福島県	79	82	3	68	△14	△11
茨城県	85	94	9	101	7	16
栃木県	119	114	△5	129	15	10
群馬県	119	86	△33	94	8	△25
埼玉県	118	165	47	160	△5	42
千葉県	268	268	0	289	21	21
東京都	1,707	1,261	△446	1,350	89	△357
神奈川県	404	557	153	592	35	188
新潟県	89	100	11	98	△2	9
富山県	59	57	△2	54	△3	△5
石川県	95	116	21	89	△27	△6
福井県	48	32	△16	32	0	△16
山梨県	54	41	△13	46	5	△8
長野県	104	100	△4	118	18	14
岐阜県	116	85	△31	90	5	△26
静岡県	109	147	38	153	6	44
愛知県	436	476	40	519	43	83
三重県	77	67	△10	56	△11	△21
滋賀県	83	69	△14	76	7	△7
京都府	411	264	△147	326	62	△85
大阪府	689	633	△56	632	△1	△57
兵庫県	310	297	△13	301	4	△9
奈良県	101	93	△8	83	△10	△18
和歌山県	68	57	△11	61	4	△7
鳥取県	51	58	7	44	△14	△7
島根県	30	51	21	42	△9	12
岡山県	146	158	12	153	△5	7
広島県	181	134	△47	148	14	△33
山口県	93	78	△15	72	△6	△21
徳島県	68	65	△3	38	△27	△30
香川県	50	55	5	50	△5	0
愛媛県	65	81	16	76	△5	11
高知県	47	45	△2	47	2	0
福岡県	546	508	△38	530	22	△16
佐賀県	58	60	2	63	3	5
長崎県	105	89	△16	107	18	2
熊本県	115	99	△16	109	10	△6
大分県	54	41	△13	49	8	△5
宮崎県	50	47	△3	36	△11	△14
鹿児島県	91	121	30	99	△22	8
沖縄県	81	139	58	141	2	60
	8,166	7,756	△410	8,000	244	△166

6. 臨床研修関係講習会について

臨床研修管理委員長研修（案）

<概要及び目的>

国立保健医療科学院では、円滑かつ効果的な臨床研修を推進し、医師としての人格をかん養し、プライマリ・ケアを中心に幅広く医師として必要な診療能力を効果的に身につけさせるよう臨床研修目標達成を支援するために、厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室と連携し、臨床研修管理委員長を対象に臨床研修管理委員長研修を行うこととなった。

<研修対象者>

研修管理委員会の委員長（病院長）、約900人

<実施機関及び実施場所>

国立保健医療科学院が実施する。

場所は、国立保健医療科学院 和光庁舎とする。

<研修日程・定員>

研修期間としては2日間、年に6回、毎年実施、1コース150人を予定

<研修目標及び内容>

研修目標は、研修とその質の向上のためのマネジメントを理解し、研修プログラムの実施及び評価を管理する技能を理解する。具体的には以下の通りである。研修方法は講義形式とする。

1. 研修とその質の向上のためのマネジメントを理解する。
2. 経営における評価として研修医の質、良き研修教育を据えるよう配慮する。
3. 医学教育・技法の概要を理解する。
4. 臨床研修において認識すべき医療及び労働関係法規を理解する。
5. 研修医、指導医、プログラム責任者のメンタルヘルス（コミュニケーションを含む）に配慮する。
6. 研修中断・再開、研修修了の基準について理解する。
7. 複数の病院、施設が関係する臨床研修の留意点（手当、処遇、生活面）に配慮する。

7. 平成17年度医政局所管国家試験実施計画日程表

平成17年医政局所管国家試験実施計画日程表

	官報公告	願書受付期間	受験票交付期間	筆記試験	実地試験	合格発表	試験地	会場数
第99回 医師国家試験	16. 7. 1(木)	16. 12. 8(水)~12. 24(金)	17. 2. 18(金)までに郵送	17. 2. 19(土)20(日) 21(月)		17. 3. 30(水)	北海道、宮城県、東京都、新潟県、 愛知県、石川県、大阪府、広島県、 香川県、福岡県、熊本県、沖縄県	12
第98回 歯科医師国家試験	16. 8. 2(月)	17. 1. 11(火)~1. 28(金)	17. 3. 10(木)~3. 15(火)	17. 3. 16(木)17(木)		17. 4. 19(火)	北海道、宮城県、東京都、新潟県、 愛知県、大阪府、広島県、福岡県	8
第91回 保健師国家試験	〃	16. 11. 29(月)~12. 20(月)	17. 2. 23(水)までに郵送	17. 2. 24(木)		17. 3. 29(火)	北海道、青森県、宮城県、東京都、 愛知県、石川県、大阪府、広島県、 香川県、福岡県、沖縄県	11
第88回 助産師国家試験	〃	〃	〃	17. 2. 25(金)		〃	〃	11
第94回 看護師国家試験	〃	〃	〃	17. 2. 27(日)		〃	〃	11
第57回 診療放射線技師試験	16. 10. 1(金)	17. 1. 5(水)~1. 17(月)	17. 2. 18(金)までに郵送	17. 3. 3(木)		17. 4. 8(金)	北海道、宮城県、東京都、 愛知県、大阪府、広島県、香川県、 福岡県 (科目免除者)東京	8
第51回 臨床検査技師国家試験	〃	〃	〃	17. 3. 4(金)		〃	北海道、宮城県、東京都、愛知県、 大阪府、広島県、香川県、福岡県、 沖縄県	9
第40回 理学療法士国家試験	〃	〃	〃	17. 3. 6(日)	17. 3. 7(月) (点字受験者)	17. 4. 13(水)	(筆記)北海道、宮城県、東京都、愛知 県、大阪府、香川県、福岡県、沖縄県 (実地)東京都	8 1
第40回 作業療法士国家試験	〃	〃	〃	〃	〃	〃	北海道、宮城県、東京都、愛知県、 大阪府、香川県、福岡県、沖縄県 (実地)東京都	8 1
第35回 視能訓練士国家試験	〃	〃	〃	17. 3. 3(木)		17. 4. 8(金)	東京都、大阪府	2

(財団実施) 平成17年医政局所管国家試験実施計画日程表

	官報公告	願書受付期間	受験票交付期間	筆記試験	実地試験	合格発表	試験地	(か所数)
第18回 臨床工学技士 国家試験	16.10.1(金)	17.1.7(金)~1.28(金)	17.2.25(金)に投函	17.3.6(日)	—	17.3.28(月)	北海道、東京都、大阪府、福岡県	4
第18回 義肢装具士 国家試験	〃	17.1.21(金)~2.4(金)	17.2.10(木)に投函	17.3.4(金)	—	〃	東京都	1
第14回 歯科衛生士試験	〃	17.1.6(木)~1.20(木)	17.2.23(水)に投函	17.3.6(日)	—	17.3.28(月)	北海道、宮城県、東京都、新潟県、 愛知県、大阪府、広島県、香川県、 福岡県、沖縄県	10
第27回 救急救命士 国家試験	16.11.22(月)	17.1.11(火)~2.10(木)	17.3.10(木)に投函	17.3.20(日)	—	17.4.19(火)	北海道、東京都、愛知県、大阪府、 福岡県	5
第13回 あん摩マッサージ指圧師、 はり師、きゆう師試験	16.10.1(金)	16.12.13(月)~17.1.4(火)	17.2.7(月)に投函	17.2.26(土) 17.2.27(日)	—	17.3.28(月)	各都道府県	47
第13回 柔道整復師試験	16.9.1(水)	17.1.4(火)~1.21(金)	17.2.18(金)に投函	17.3.6(日)	—	〃	北海道、宮城県、東京都、石川県、 愛知県、大阪府、広島県、香川県 福岡県	9
第7回 言語聴覚士 国家試験	〃	16.11.29(月)~12.17(金)	17.2.2(水)に投函	17.2.19(土)	—	17.3.31(木)	北海道、東京都、愛知県、大阪府、 広島県、福岡県	6